

5. どんな時代だったのか？時代を象徴する名言&エピソード

② 「大正時代」を象徴する名言&エピソード

村上浩一

「揆」の主役となったのは、労働者や職人等で、被差別部落の人々も

多数参加していた。この騒動で、米の

廉売に成功し、寺内内閣は崩壊し、「平民宰相」と言われた原敬を中心とした

政党内閣が誕生した。なお、米価は開

戦当時の一石約17円から約47円へと

約3倍も高騰していた。

この原稿を書いている11月現在、

世は選挙モード突入で、現代にも通用

する言葉でもある。この言葉は、普通

選挙法による初の総選挙時におけるポ

スターのコピーである。1925年、

25歳以上の男性に選挙権が与えられ

る、普通選挙法が成立する。これによ

り、有権者は330万人から1250

万人へと約4倍も増加した。しかし、

女性に選挙権が与えられるのは、19

45年を待たねばならない。

3. 「人の世に熟あれ、人間に光あれ」

1922年、京都で部落解放を目指す全国水平社の創立大会が開催された。これは、西光万吉が起草した「全国に散在する吾が特殊部落民よ団結せよ」で始まる水平社宣言の最後の箇所である。明治時代に「解放令」が出されても、差別は依然として続いていた。この宣言は、日本における「人権宣言」とも言われている。水平社は、部落解放運動として、この後の日本の人権運動に大きな影響を与えていく。

1. 「越中女」揆

これは、1918年に起こった米騒

動を新聞が報道した時の見出しである。

当時の新聞記事によると、富山県漁民

の女性約二百人が海岸に集合し、米屋

や米所有者を襲ったとある。これが発

端で、全国へと騒動が広がり、この民

衆運動が大正時代(大正デモクラシー)

を牽引していくことになる。

この背景には、第一次世界大戦によ

る「成金」の続出、その一方では民衆

の生活苦、シベリア出兵に伴う米穀商

の買い占め等々による米価高騰等があ

4. 野口英世

「おまいの○しせにわ○みなたま
けました」

という文で始まる手紙（『郵政トピック
ス2002年6月』より）がある。「お
前の出世には皆たまげました」とい
う文で、これは英世の母シカが、アメ
リカで研究を続ける英世へ送った手紙
である。綴られたのは明治5年だそう
で、英世はこの手紙を読んで涙を流
したと言われている。

さて、英世だが、1918年に黄熱
病の病原体を発見したと伝えられて
いるが、どうもそうではなかったよう
だ。つまり、当時の光学顕微鏡では
ウイルスは発見できなかったというこ
とである。しかし、人類のためにあの
時代の世界を飛び回り、最後は1928年、

ガーナにて黄熱病で世を去ること
になる。2004年7月から千円札紙幣
の肖像として登場する予定である。
この写真は、JICAの海外派遣で
昨年派遣された、ガーナはアクラ
市内の野口英世記念館の銅像
である。

5. 大正モダン文化

「大正ロマン」という呼称もあるが、

この時代は、明治の船来文明が
日本の風土に定着していった時代
である。

様々な文化が発展していった。
レコード・映画・観光・雑誌等々
である。さらに、アール・ヌー
ボー、アール・デコといったデザ
インの影響を受け、これらはラ
ベルや広告・ポスターに生かされ
ていった。一方で、三越等の百貨
店も登場し、デパートが現れ、
ショーウィンドウやエスカレーター、
エレベーター等々が設置されて
いった時代でもある。洋装で歩く
女性は、モダンガール（モガ）
と呼ばれた。

このように、「女一揆」の米騒動に
始まった民衆運動は、農民運動、
部落解放運動、労働運動、女性
解放運動、教育運動等々へと民
主主義を押し進めていった。そ
して、文化の発展も進んでい
った時代であった。□□□□□□
□□□□□□□□□□□□□□□□

（熊本市立出水南小学校教諭）□□□